

第二世代シーケンサー 利用案内

(ver. 4, Apr. 2015)

はじめに 支援内容について

装置はロシュ・ダイアグノスティック社製 GS junior ベンチトップシステムです。詳細は <http://www.roche-biochem.jp/454web/454-gs-junior.php> をご参照下さい。

本支援は受託解析ではありません。利用者本人がマニュアルをもとに実験を行って頂きます。実験に必要な消耗品および備品は用意しております。

利用する上での注意点

- ロシュ・ダイアグノスティック社は GS junior のサポートを 2016 年で終了いたします。試薬販売終了が 2016 年 5 月 31 日（試薬の有効期限 2016 年 12 月）、機器メンテナンスおよび修理対応終了が 2016 年 12 月 22 日となっています。2016 年 5 月 31 日以降の使用については、試薬は使用者の持ち込みにてお願いいたします。
- 常備していない試薬キットもございますので、事前に使用する GS junior 用の試薬キットについてご相談下さい。
- 実験の過程で GS junior ベンチトップシステム以外の様々な機器を利用するため、館内の配置・当施設のルールなどを案内します。

利用の流れ

- ① 研究支援の事前連絡（貴研究室→管理担当者）：目的、サンプル、サンプル数
 - ② 事前打ち合わせ（面談またはメール）：
マニュアルの確認、使用する試薬キット、スケジュールやサンプル送付の希望、当施設のルール等を確認。
 - ③ 申請書の提出（貴研究室→理研事務局）
 - ④ 採択の連絡（理研事務局→貴研究室）
 - ⑤ 電子メールで装置の使用予約（貴研究室→管理担当者）：日程調整。
 - ⑥ 当センターにて実験（ライブラリー調整、emPCR、シーケンスラン）
 - ⑦ 配列データ持ち帰り
- ※実験操作（6～7）に 3～4 日かかります。

費用負担

1 ランあたり 18 万円の利用料をご負担頂きます。詳細は事前打ち合わせの際にご案内します。利用者の旅費・宿泊費等（学内宿泊施設あり）は原則として利用者をご負担ください。またマニュアルは利用者が印刷して持参して下さい。

Authorship

成果発表の際には Acknowledgements 等に以下の内容を記載されるようお願い致します。（例）This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network and Gene Research Center, the University of Tsukuba.

支援内容によっては共著でお願いいたします。

連絡先：管理担当者

kikuike@gene.tsukuba.ac.jp 菊池 彰（筑波大学 遺伝子実験センター 准教授）